

地域貢献活動基金助成事業を見る

北海道建築士会地域貢献活動センター

平成23年度(前期)助成事業

- 【事業名】** みんなでつくる 景観まちづくり
～地域の安全・安心はゴミステーションから始まる～
- 【事業目的】** 札幌市白石区の広範囲にわたる町内会の方々を対象に、景観やまちづくりのことに興味を持っていただくことを目的とする
- 【団体名】** (社)北海道建築士会 青年委員会
- 【事業内容】**
 - ・ 景観の重要性の説明
 - ・ カラスよけゴミサークルの製作説明及び製作実演



- ・ 講演「自分達でまちを創る！」
講師：藤女子大学 大垣教授

- ・ ワークショップ
「世代間交流のできるまちづくり」



平成23年度(後期)助成対象事業を募集中！

北海道建築士会会員が参画する地域貢献活動の活性化を図ることを目的として下記に掲げる事業を対象に本年度2回目の活動資金の助成を行います。

募 集 要 領

- 募 集 期 間** : 平成23年8月1日～平成23年9月9日(後期分)
- 対 象 事 業** :
 - ・ 地域のまちづくり
 - ・ 歴史的遺産の再生と活用
 - ・ 景観の保全
 - ・ 居住環境の保全、改善
 - ・ 福祉環境の整備
 - ・ 地域住宅づくり
 - ・ 地域防災
 - ・ 自然環境の保全、整備
 - ・ その他地域活性化、社会サービスなど
- 助 成 額 等** : 一件の限度額 事業費の1/3且つ20万円以内で委員会が決定した額とします。
平成22年度に3年継続事業として計画されたものは平成24年度まで対象となる他、単年度事業としての助成は今年度が最終となります。

これまでの助成事業

平成22年度



〈団体名〉 忠類再発見サポートクラブ・ディスカバリー
 ❖地域の魅力発掘と再発見による地域の活性化
 ❖地域づくり活動サポート



【完了した活動】 ●地域イベントのサポート活動
 ●地域の魅力の発掘・検証作業
 ●地域情報の発信

埋没しがちな地域の歴史遺産を発掘するとともに、その魅力を啓発することで、村の独自性を向上せしめ、地域アイデンティティを確立し、まちづくりに資する事業。



〈団体名〉 下川町エコハウス推進地域協議会
 ❖森林を核とした循環型のまちを目指す
 下川町エコハウスは、“森林を核とした循環型のまち”の建築部門を担うものとし、エコハウスの普及を推進する。



【完了した活動】 ●エコハウスセミナーの開催
 ●町営住宅を活用した勉強会の開催
 ●エコプロダクツ2010での展示・普及

地場産材を活用した、北方型エコハウスを町営住宅でモデル化し、一般住宅への普及を図ることで、建設業者の技術向上と住民啓発を目指す事業。

平成21年度



【事業名】 みんなのまちの美観を考える
 「これからのゴミステーション」
 【活動テーマ】 街頭のゴミステーションの美化を切り口に住民のまちの美観に対する意識向上を促し、地域の様々な課題や景観まちづくりにつながる機運を盛り上げる事業

〈団体名〉 (社)北海道建築士会 札幌支部 青年委員会



【事業名】 歴史建物の保存と活用による地域拠点づくり
 【活動テーマ】 昭和初期のRC建物を今後100年に向けて保存伝承するため、住民参加によるイベントフォーラムを通じ地域の歴史的な場所づくりを促す事業

〈団体名〉 NPO法人伝成館まちづくり協議会



【事業名】 「和田屯田被服庫」保存のための調査
 【活動テーマ】 アメリカ西部開拓時代の小屋組みを採用した唯一現存する建物の設計図面を作成することにより貴重な地元歴史資産が伝承されることを目的とした事業

〈団体名〉 (社)北海道建築士会 根室支部



【事業名】 古い建築物の所有者に保全活用の意識啓発を促す資料作成
 【活動テーマ】 北海道開拓時代の古民家の図面作成や活用方法を提案することで所有者の保全・活用意識の高まりと、地域コミュニティ形成に寄与する事業

〈団体名〉 特定非営利活動法人イッシュヨ移住オホーツク